

総動員伝道

総動員伝道の目標

1. すべての人に福音を伝えよう。
2. すべてのクリスチャンがよいあかし人になろう。
3. すべての教会が成長しよう。

自分の足で立て

総動員伝道 委員 福澤満雄



「起き上がって、自分の足で立ちなさい。

わたしがあなたに現れたのは、あなたが見たこと、また、これから後わたしがあなたに現れて示そうとすることについて、あなたを奉仕者、また証人に任命するためである。わたしは、この民と異邦人の中からあなたを救い出し、彼らのところに遣わす」。

使徒二六章16～17節

わたしたちが、救われたのはこの世界に遣わされるためです。それは、わたしたちが見たこと体験した事を証しするためです。主はそのために奉仕者として任命してくださいました。

この確信の裏づけとなるものは、感情や、何か特別な現象や賜物ではありません。聖霊の感動によって書かれた聖書の御言葉です。

見たこととは、救い主、主イエス・キリストの十字架と復活の証人となる事です。わたしたちは心の目が聖霊様によって開かれ、2000年前の出来事ですが、見たのです。体験したのです。キリストの十字架を見た、と云うことは、自分の罪の為に身代わりとなって命がけで愛してくださいました事を信じたことです。そして、これには当然のことですが十字架の前にひれ伏して、「イエス様ごめんなさい」と告白する罪の悔い改めが伴います。その結果、「汝の罪赦されたり」という確信が与えられた人です。

次に、復活のキリストを見たという体験です。十字架の上で死なれたお方が黄泉に下り、3日目に死に勝利されて、今、信仰によって私の心の中に生きておられる、と云う信仰による確信です。

証人になれる人は、その現場を見た人です。2000年前の出来事である十字架と復活の証人となる為には、御言葉に対する信仰と聖霊による確信です。初代教会のクリスチャンのように「見たこと喜びに踊っている」のです。そこから、奉仕者としての力、復活の証人としての喜びのエネルギーが湧いてくるのです。(使徒一・9)。

復活の主は、パウロに言いました。「起き上がって、自分の足で立ちなさい」と。今、私たちに求められているのも、起き上がって、自分の足で立つ自立したクリスチャンではないでしょうか。鼻から息の出入りするものではなく、聖霊に満たされて、復活の主に心から信頼して自分の足で立つ、若きクリスチャンよ立て!

伝道の情熱と開拓的信仰

文字通りゼロからの出発でしたので、日本の各県に積極的な開拓伝道がなされました。その結果、創立20年を記念する総会までに、日本の各県の県庁所在地またはそれに準じる都市に教会が開設されました。当時は伝道の方法論などを吟味するというよりも、ともかく熱心に、路傍伝道、戸別訪問、家庭集会などあらゆる方法を用いて福音を伝える、その結果魂が救われる、

困難な現状と打開策

2005年に教団創立60周年を祝

1 青少年の伝道と育成——今までも力を入れていなかったわけではありませんが、現代の青少年のフィードバックに沿った形での伝道や育成という面では遅れていたことを認めつつ、指導者の育成をはかること、各教会の個別の対応から脱皮して、より広域的・組織的な対応を行うことなどが提案され、徐々に実現されています。

2 信徒パワーの活用——牧師中心で行われていた伝道活動でしたが、信徒の参加を期待し、信徒参加の方策を講じること。教団に「信徒伝道者養成講座」を開設して、ビデオによる自宅学習と短期のスクーリングをもつて信徒伝道者を養成する道を開き、既に10名余りが認定され、活躍しています。こうした公式的な信徒参加だけでなく、自由な形での信徒参加が今後も計られることでしょう。

信徒主導の「小グループ」による教会・伝道がいくつかの教会で試みられて

アチーブメント株式会社

選択理論に基づいた、人材教育を試みる会社です。

代表取締役社長 **青木仁志**

〒141-0022 東京都品川区東五反田 4-6-6 高輪台グリーンビル3F
TEL 03-3445-0311(代)

聖と宣のビジョン

イムマヌエル総合伝道団は、1945年10月、太平洋戦争の終結直後、荒廃した日本と世界の宣教を目指して誕生しました。戦争中、ホーリネス系教会への弾圧のために繋がれていた葛田二雄牧師が牢獄の中で暖めていたビジョンは、「聖と宣」(聖書信仰と聖書の聖潔、世界宣教)をモットーとした教会づくりでした。戦後日本が必要としていた医療、農業、保育など全人的な必要を満たしつつ福音を伝えようという願いから「総合伝道団」と名づけられ、果敢な、そして幅広い伝道活動が繰り返されました。

海外宣教の着手

国内教会の確立と平行して海外宣教の動きが開始されました。1961年、最初の宣教留学生のインド派遣を皮切りに、ジャマイカ、ケニア、台湾、パプア・ニューギニア、フィリピン、ボリビア、香港、ハイチと次々に宣教師が送り出されていきました。動きの形態は神学教育、農業指導、教会建設、医療奉仕など総合的な動きが展開されました。現地の教会や他の宣教団体との協力関係も多彩で、きよめ派の諸団体との協力という形、独立した働きなど状況に応じての関係が結ばれていきました。

1 青少年の伝道と育成——今までも力を入れていなかったわけではありませんが、現代の青少年のフィードバックに沿った形での伝道や育成という面では遅れていたことを認めつつ、指導者の育成をはかること、各教会の個別の対応から脱皮して、より広域的・組織的な対応を行うことなどが提案され、徐々に実現されています。

2 信徒パワーの活用——牧師中心で行われていた伝道活動でしたが、信徒の参加を期待し、信徒参加の方策を講じること。教団に「信徒伝道者養成講座」を開設して、ビデオによる自宅学習と短期のスクーリングをもつて信徒伝道者を養成する道を開き、既に10名余りが認定され、活躍しています。こうした公式的な信徒参加だけでなく、自由な形での信徒参加が今後も計られることでしょう。

信徒主導の「小グループ」による教会・伝道がいくつかの教会で試みられて

1 青少年の伝道と育成——今までも力を入れていなかったわけではありませんが、現代の青少年のフィードバックに沿った形での伝道や育成という面では遅れていたことを認めつつ、指導者の育成をはかること、各教会の個別の対応から脱皮して、より広域的・組織的な対応を行うことなどが提案され、徐々に実現されています。

2 信徒パワーの活用——牧師中心で行われていた伝道活動でしたが、信徒の参加を期待し、信徒参加の方策を講じること。教団に「信徒伝道者養成講座」を開設して、ビデオによる自宅学習と短期のスクーリングをもつて信徒伝道者を養成する道を開き、既に10名余りが認定され、活躍しています。こうした公式的な信徒参加だけでなく、自由な形での信徒参加が今後も計られることでしょう。

信徒主導の「小グループ」による教会・伝道がいくつかの教会で試みられて

伝道アラカルト
(2)
ジャパン・カルバリー・クルセード
福澤 満雄

手をつないで

娘婿の実家のミネソタ州を訪ねたとき、彼の生家はサウスダコタに近い農村と聞いていましたが、行って見て驚きました。

見渡す限りのコーン畑。義父の畑の端から端まで車で20分。

そのスケールの大きさに啞然としました。大人の背丈以上あるコーン畑の傍に立って、義父は孫たちにけっして一人で畑に入ってはいけないと、注意していました。

その時、私は一つの話の思い出しました。「コーン畑に入った子供が迷って出て来れなくなりました。村人たちがコーン畑に入って何日も捜しましたが見つかりませんでした。それを知った教会の牧師が、教会の鐘を鳴らして村人たちを集めました。その牧師は村人たちを畑の前に一列に並ばせて、手をつながせていっせいにコーン畑に入るように号令をかけました。決して手を離さないように言いま

した。数時間後、子供が発見されました。しかし、子供はすでに息を引き取っていました。村人たちは悲しみ、何でもっと早く手をつないで、協力して捜さなかったのかと後悔した」と云う話です。

「毎日、心を一つにして」
(使徒2章46節)

集まった初代教会のクリスチャン達のように、私たちが失われ行く一人の命の為に、心を一つにして、手をつないで宣教の畑に出て行こうと見渡す限りのコーン畑を見ながら、チャレンジを受けました。

伝道メモ 61



ダ・ピンチ・コードという本と映画が世に回っている。イエスがマグダラのマリヤと結婚したなど、聖書からはとても引き出しえない事を「事実」である、と公言している。事実どころか「作り話」である。馬鹿馬鹿しくて、この

ような物をまともに受け取る人は少ないとは思いますが、でも販売数からみると疎かに出来ない。これに影響される人を最小限に食い止めるために、本が出版され、DVDも製作された。人々の思いをくرامせる物が次々と出てくるかもしれない。

「あなたがたの中にも、にせ教師が現われるようになります。彼らは、滅びをもたらす異端をひそかに持ち込み、自分たちを買い取ってくださった主を否定するようなことさえして、自分たちの身にすみやかに滅びを招いています」(Ⅱペテロ2:1)

気をつけよう。

(姫井雅夫)

医療法人社団 誠志会

誠志会病院

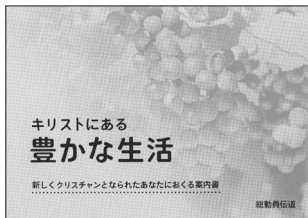
**** 看護師募集中 ****

院長 **岡田信良**

〒174-0043 東京都板橋区 坂下 1-40-2
TEL 03-3968-2621

国のために祈る夕べ

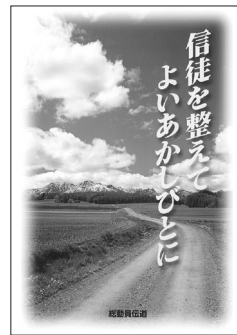
- ◆日時：2006年7月20日（木）6：30～8：30p.m.
 - ◆会場：お茶の水クリスチャンセンター（8Fチャペル）
 - ◎テーマ “十字架による神との和解、アジア諸国との和解”
 - メッセージ 野田秀師 ○現状報告と祈祷課題 根田祥一氏
- 主催・全日本宣教祈祷運動



「キリストにある豊かな生活」定価95円＋税



「大いなる救い」定価95円＋税



「信徒を整えてよいあかしびとに」定価476円＋税

《本・冊子の紹介》

- すべて定価より10%引きます。
- 「信徒を整えてよいあかしびとに」セット（定価762円＋税）
- ※ご注文はお電話、FAXでお申し込み下さい。

秋の伝道研修会

- ◆日時：2006年9月22日（金）10時30分～15時
- ◆会場：OCC 901号室
- ◎講師：中島秀一師他
（※参加費2000円、資料代・昼食代含む）
- 内容「21世紀伝道の教団としての取り組み」

- 《お知らせ》
- 「国のために祈る夕べ」
 - 7月20日 OCC（総伝協力）
 - 「子どもたちのための祈祷会」
 - 9月4日（総伝協力）
 - 秋の伝道研修会（総伝主催）
 - 9月22日 OCC
 - 9月18～19日 徳島市
 - 10月16～17日 入間市
- お祈り下さい。



2006年7月1日発行
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1
OCC、614号室

総動員伝道
TEL 03-3291-5035
FAX 03-3291-5266
Eメール sodoin@ybb.ne.jp
ホームページ
http://www.gospeljapan.com/sodoin/
振替 00140-1-107255
代表 姫井 雅夫
編集 住吉 英治
定価 一部10円（送料別）
印刷 新生宣教団（2,500枚）

4月会計

収入	462,035
活動費	39,947
印刷・発送	142,398
部屋代	195,564
リース	13,230
積立	10,000
支出計	401,139
累計	-197,291

●ご支援、ありがとうございます。

首都圏キリスト教大会のフォローと事後処理をしています。決心された方々がふさわしい教会に繋がりが、そこで霊的成長を遂げ、次にどなたかに福音を伝えることが出来るようになることを期待します。

7月は種まき伝道で、三重県鈴鹿市に出かけます。お祈りください。

《総動員伝道の組織》

代表・姫井雅夫
委員・有賀喜一、福澤満雄、中島秀一、北條和人、安藤能成、住吉英治、鈴木留蔵、岡田信良、多胡元喜、塩島光三、クレイグ・カックス、浅見鶴蔵、姜 星光

顧問・羽鳥 明
相談役・小助川次雄、村上宣道